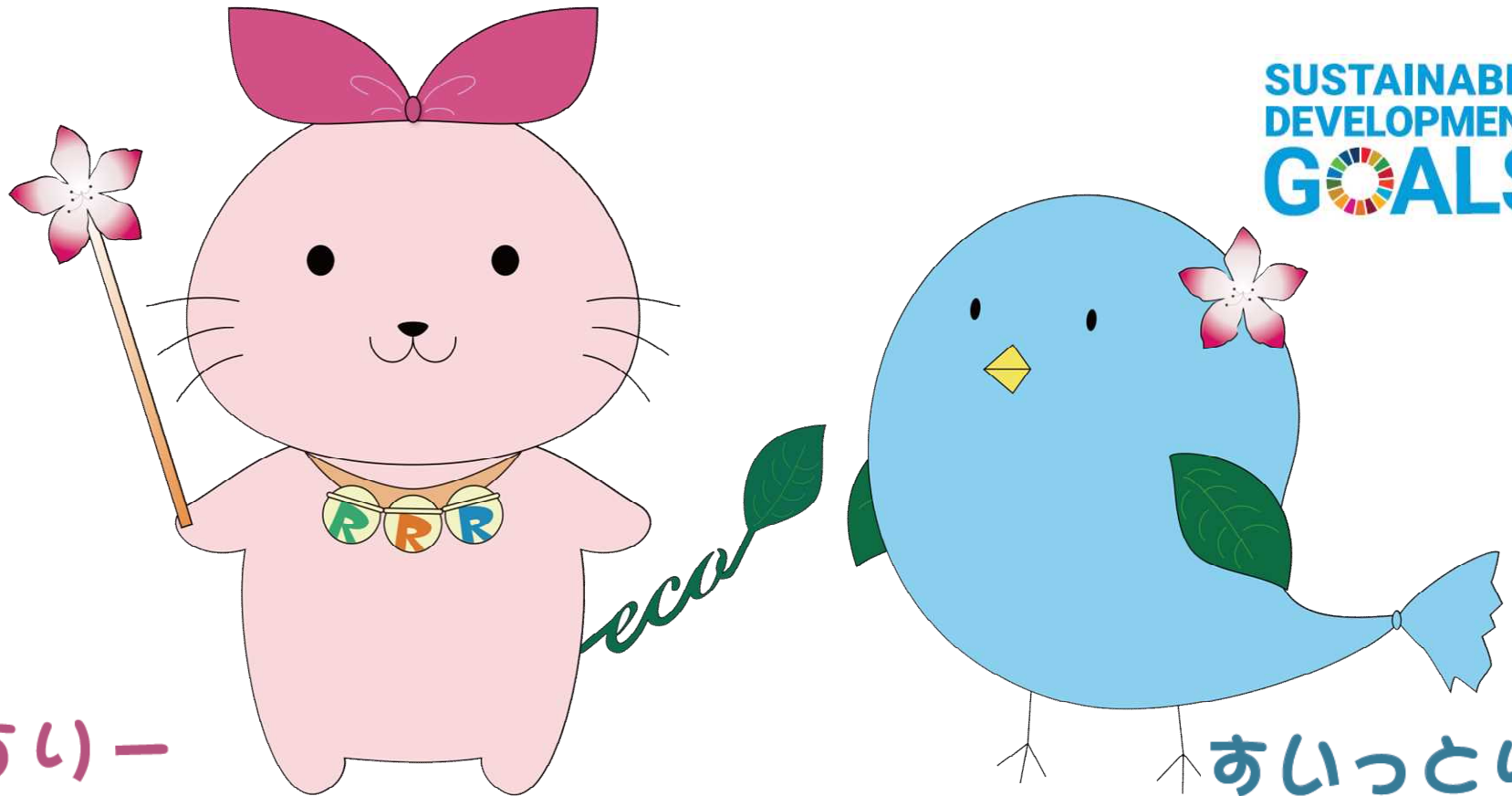


香流苑解体撤去に関する工事の説明 及び 跡地の考え方についての意見交換

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



ああいー

あいっとい

香流苑解体撤去工事に至るまでの経緯

昭和 50 年 4 月 香流苑供用開始

平成 25 年 1 月 今後尾張旭市長久手市衛生組合を解散することを尾張旭市と合意

平成 26 年 5 月～「尾張旭市長久手市衛生組合の解散に向けた準備会」で解散検討

平成 30 年 10 月 令和 4 年 4 月から本市のし尿等処理及び受入を日進市と合意

令和 3 年 1 月 尾張旭市長久手市衛生組合の解散に係る解散後の事務及び財産の処分方針に関する覚書（第 1 号）締結

【主な合意事項】

①組合を令和 4 年 3 月 31 日に解散②閉鎖業務後に現状有姿で売却③財産は両市の建設経費割合で分配
長湫地区北部自治会連合会から「香流苑跡地に関する要望について」の要望書提出

令和 3 年 10 月 土壤汚染（ヒ素、フッ素）判明、詳細調査開始

令和 3 年 12 月 尾張旭市長久手市衛生組合の解散について議案議決

令和 4 年 3 月 尾張旭市長久手市衛生組合の解散に伴う財産処分について議案議決

尾張旭市長久手市衛生組合解散

令和 4 年 4 月 日進市南部浄化センターで本市、日進市、東郷町でし尿の共同処理開始

令和 4 年 4 月～9 月 香流苑閉鎖業務（仕舞工事）

令和 4 年 8 月 土壤汚染詳細調査完了、報道発表

尾張旭市長久手市衛生組合の解散に係る解散後の事務及び財産の処分方針に関する覚書（第 3 号）締結

【主な合意事項】

①閉鎖業務完了後、解体工事及び汚染土壌撤去実施②香流苑の土地及び建物の尾張旭市持ち分を全て買収

令和 5 年 6 月 香流苑解体撤去工事請負契約の締結について議案議決

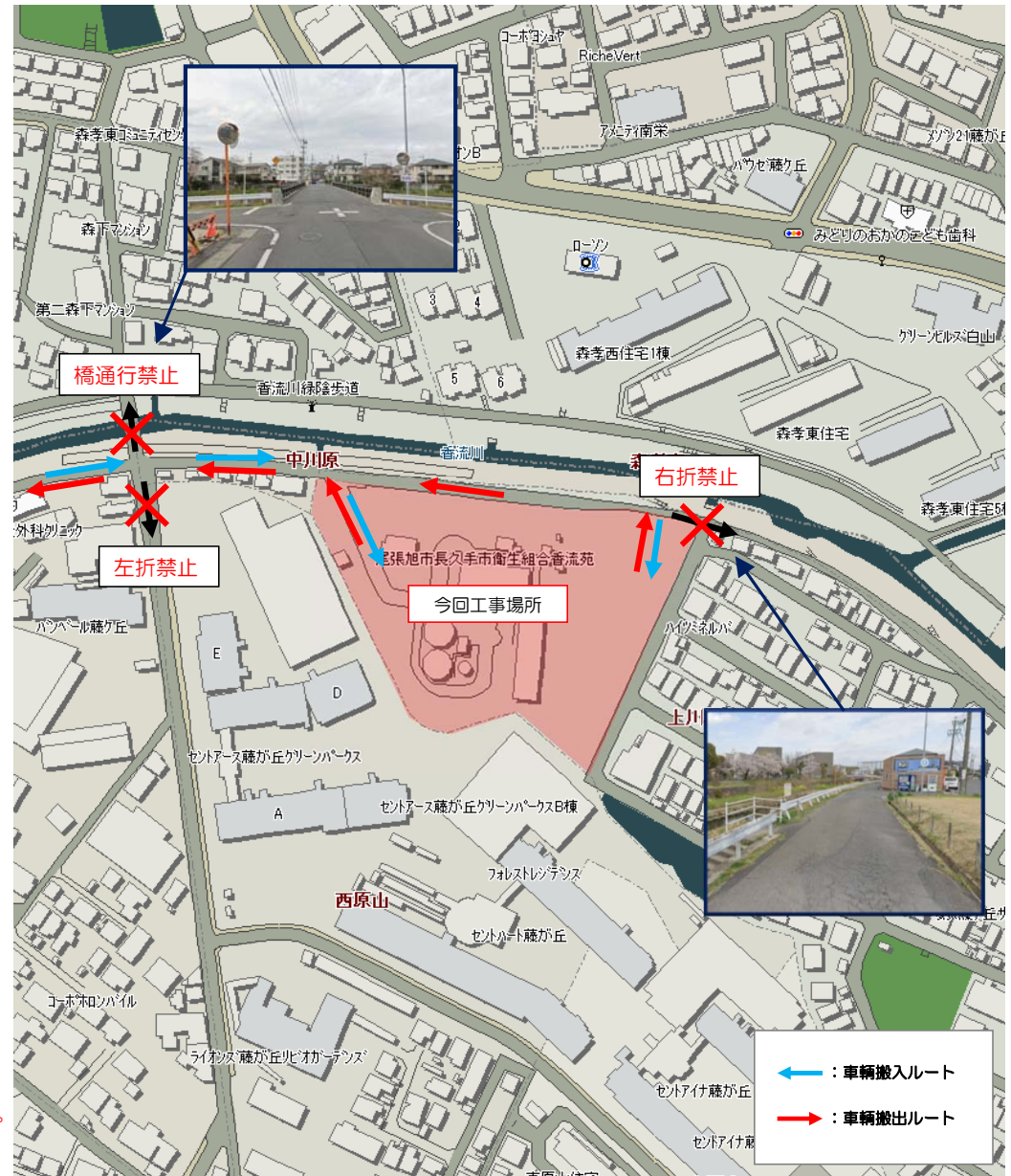
香流苑解体撤去工事契約締結

香流苑解体撤去工事

工事概要

1. 工事名 : 香流苑解体撤去工事
2. 工事場所 : 長久手市上川原地内
3. 工事期間 : 令和5年6月20日 ~ 令和7年6月30日
4. 発注者 : 長久手市
5. 監理者 : 株式会社 環境施設コンサルタント
6. 請負者 : 株式会社 前田産業 名古屋支店 現場代理人 : 寺本 祐介
7. 解体施設概要 :
 - ①施設用途 : し尿処理施設
 - ②処理能力 : 60kℓ/日
 - ③処理方式 : 嫌気性消化処理方式
 - ④敷地面積 : 16,036.49㎡
 - ⑤施設建物
 - ・投入室棟
 - ・二次処理棟
 - ・ブロワー室
 - ・管理棟
 - ・倉庫
 - ・車庫
 - ・第1消化槽
 - ・第2消化槽
 - ・ガス貯留槽
8. 工事内容 :
 - ①香流苑内の設備解体撤去
構造物解体撤去 (基礎・杭含む)
外構その他撤去工事
 - ②アスベスト・ダイオキシン類対策工事
汚染物等確認工事
 - ③土壌汚染対策工事・整地工事

案内図



現場作業	作業日	月曜・火曜・水曜・木曜・金曜・土曜
	休業日	原則として祭日・日曜日 年末年始・GW・お盆休み
	作業時間	AM8:30~PM5:00

※工事車両の運行は最大で、10tダンプ30台程度(1日当りの延べ台数)を予定しております。
 ※工事車両は、長久手市工事車両表示ステッカーを車両に貼り、運行します。
 ※運行ルートは、法令遵守、第三者優先を全作業員に徹底して、事故防止に努めます。

香流苑解体撤去工事

工事フロー



- 1.施設内の事前調査分析を行います。
- 2.資材・機材の搬入を行います。
- 3.工事届出書類の作成・監督官庁へ提出します。



- 1.敷地全周に仮囲いと出入口ゲートを設置します。
- 2.工事看板を設置します。
- 3.現場事務所、仮設トイレを設置します。



- 1.解体建物周囲を足場で養生し、屋根を設置します。
- 2.ダイオキシン類の飛散防止の為、隔離養生を行います。



- 1.投入室棟内、ダイオキシン類の除去作業を行います。
- 2.各棟内、アスベストの除去作業を行います。



- 1.施設内の設備機器、構造物の解体（重機作業）を行います。
- 2.解体で発生した廃棄物は、集積し随時搬出します。



- 1.必要に応じて山留材を設置します。
- 2.重機、クレーンを使用して基礎構造物を解体します。十分に散水を行い粉じん対策を行います。
- 3.解体で発生した廃棄物は、集積し随時搬出します。



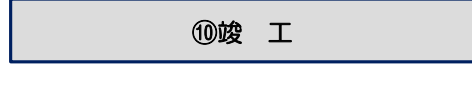
- 1.施設内の外構構造物の解体（重機作業）を行います。



- 1.汚染土壌区画の汚染土壌の掘削除去を行います。
- 2.汚染土壌は処理業者に搬出の上、適切に処理します。



- 1.施設内の舗装・門扉・フェンスの撤去工事を行います。



香流苑解体撤去工事

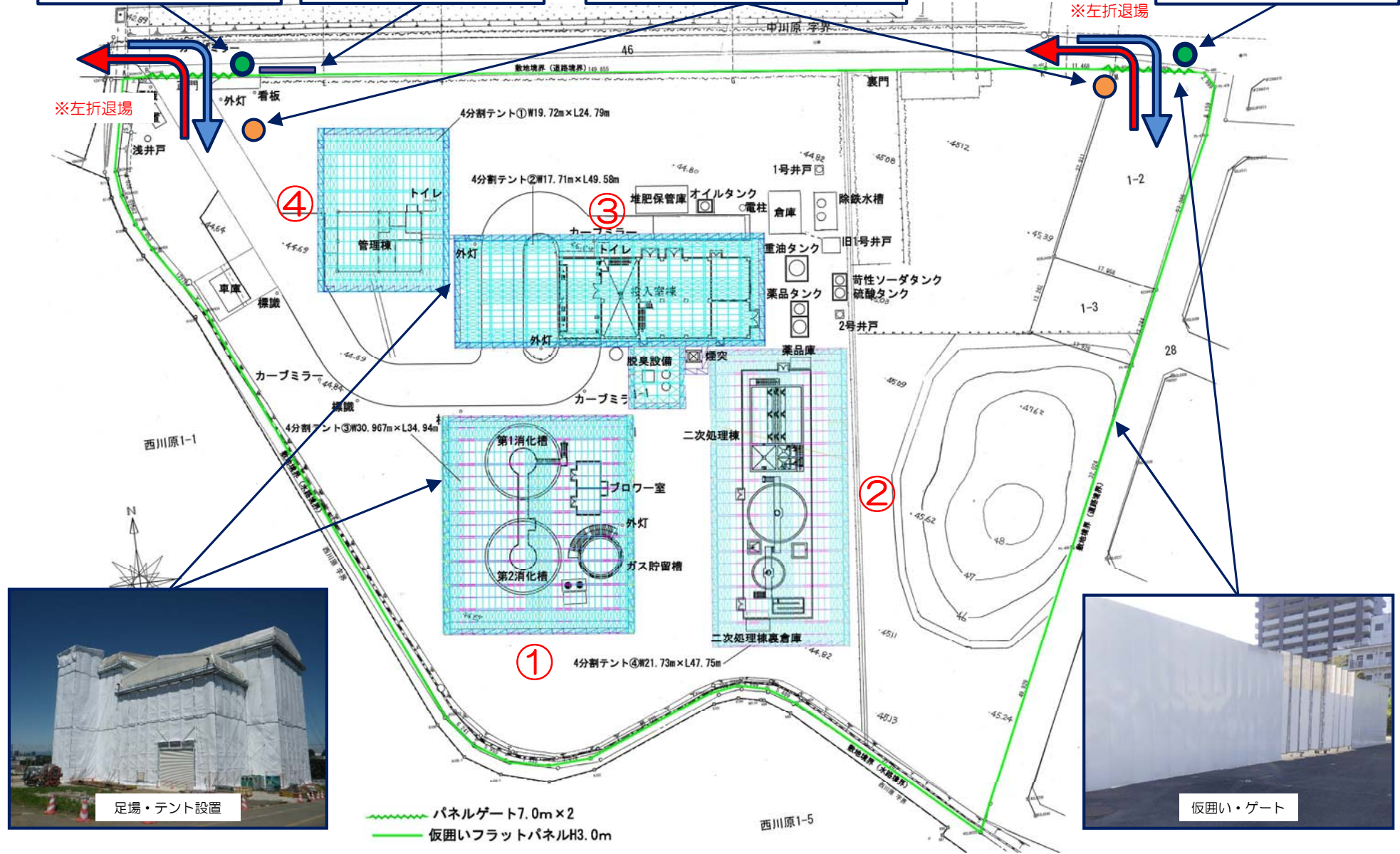
仮設計画

●ゲート付近に誘導員を配置します。
※常駐ではありません。

●工事看板横に、週間工程表を掲示します。

●工事車両のタイヤの泥は、出入口付近で
高圧洗浄器により洗い落とします。

●ゲート付近に誘導員を配置
します。
※常駐ではありません。



ダイオキシン類除去計画

準備・仮設

□焼却施設の隔離養生

除染及び解体工事に伴う粉じんの発生に対し、建物の開口部及び煙突などの外部設備の周囲を防炎シート、目張り養生で隔離しダイオキシン類の周辺への拡散を防止します。



□負圧集じん機の設置

作業場は負圧に保ち、外部に粉じんが飛散しない様、また、作業環境を良好にするため、負圧集じん設備を設けます。
(ダイオキシン類排出基準値：
0.6pg-TEQ/m³)



□セキュリティールームの設置

作業員の休憩所と作業場所の間に化学物質除去設備（エアシャワー、シュースクリーナー）を備えたセキュリティールームを設置し、外部へのダイオキシン類付着物の持出防止と作業員のダイオキシン類のばく露防止に努めます。



ダイオキシン類・アスベスト除去

□地下汚染防止対策

設備を除去した洗浄水は外部に流出しないよう作業エリア廻りにコンクリートブロック積による防液堤を設置します。また地下へ洗浄水が浸透しないよう、コンクリートによる土間コンクリートの現場打設を行います。
既存のコンクリートがある場合は、クラックチェックを行い、クラックが認められた箇所はモルタルにて確実に補修します。



□洗浄排水の処理

設備を除去した洗浄水は、ダイオキシン類を除去できる水処理設備にて処理を行います。
処理にて発生した凝集物は特別管理産業廃棄物として廃棄物処分場へ搬出・処分します。処理水は除染用水として再利用し、最終的に残った処理水は、産業廃棄物施設へ搬出し、処分します。



□焼却設備除染方法

焼却設備の除染は、高圧洗浄ガンを用いて人力により行います。



□煙突内部除染方法

煙突内部の除染は、洗浄ロボットを用いて、煙突頂部より回転ノズルを回転させながら行います。



□アスベスト除去処理

アスベスト建材の除去は、作業員は石綿作業レベル3対応の保護具を着用し作業を行います。
建材を湿潤化後、手バラシにて原型を留めそのまま撤去します。
撤去作業後は、真空掃除機にて作業エリアの清掃を行います。



解体撤去

□焼却設備の解体撤去

除染工事完了後、建築物内・外部の焼却設備の解体撤去を行います。
撤去時は粉じんが飛散しないよう、隔離養生の状態を保持したまま、設備の解体撤去を行います。
解体はバックホウに解体用のアタッチメントを取付けた重機で行います。



□煙突の解体撤去

焼却設備及び建屋の解体撤去と並行して煙突解体を行います。
撤去時は粉じん飛散防止及び騒音対策として4面足場養生のを行い、煙突解体を行います。
煙突内筒の耐火レンガは、ゴンドラを使用して、人力解体にて撤去します。外筒の鉄筋コンクリートは、上部をハンドブレイカーによる人力解体で行い、煙突下部は、バックホウに解体用アタッチメントを取付けた重機で解体を行います。
また粉じんの発生を防ぐため、散水を徹底します。



□建屋の解体撤去

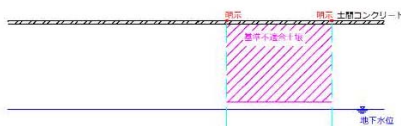
焼却設備解体撤去後、建屋の解体撤去を行います。撤去時は粉じん飛散防止及び騒音対策として周囲を足場とテントで隔離したまま建屋の解体撤去を行います。
解体はバックホウに解体用のアタッチメントを取付けた重機で行います。
また粉じんの発生を防ぐため、散水を徹底します。



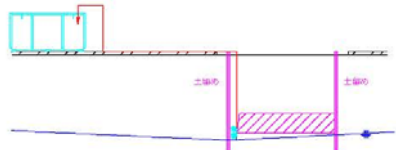
汚染土壌撤去計画

- ①汚染土壌が確認された区画において、汚染土の置換作業を行います。
必要に応じて山留材を打設します。
- ②作業用のバックホウを搬入後、汚染土を掘削します。
掘削した汚染土はダンプトラック荷台に積込みます。
地下水に接する場合は、釜場を設置し水中ポンプで揚水後、水槽に溜め、適正に処理します。
- ③汚染土撤去後、除去されたことを測量により確認します。
- ④汚染がないことを確認後、健全土による埋戻しを行います。

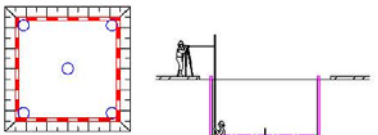
ステップ1：測量
区画をスプレー等により明示する。



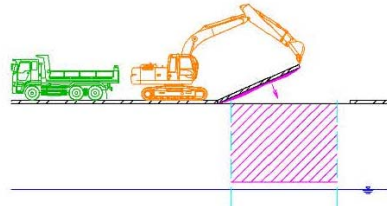
ステップ3：釜場揚水により地下水位を低下
釜場を設置し水中ポンプで揚水。
揚水した地下水は水槽に溜める。



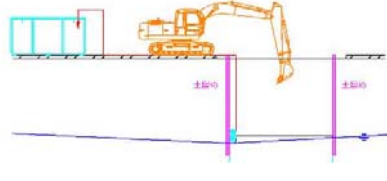
ステップ5：掘削完了確認（測量）
区画内の汚染土壌が掘削により除去されたことを
測量により確認する。



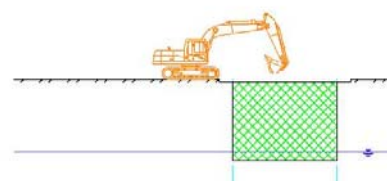
ステップ2：舗装撤去
付着土壌は区域内で取り除く。



ステップ4：汚染土の掘削、積込、搬出
掘削した土壌は汚染土壌処理施設へ場外搬出処理。
掘削面より上位に水面がないことを確認しながら
掘削を行う。



ステップ6：埋戻し
汚染がないことを確認した土壌により埋戻し。
山留を撤去する。



環境対策

○騒音振動計設置

近隣住民への解体工事による影響を最小限にするため、「騒音振動計」にて騒音・振動値を監視します。
表示板を仮囲いに設置します。



○周辺環境調査

解体工事前・工事中・工事後において、解体工事に従事する作業員のダイオキシン類ばく露防止及び周辺環境への影響を確認するため、解体工事に伴い発生する廃棄物及び周辺環境の調査を行います。

- ・周辺環境土壌＜解体前・後＞
工事前・工事後に標準土を分析し、前後における濃度変化を比較し、解体工事による周辺環境への影響を確認します。
- ・大気＜解体前・中・後＞
大気中の粒子状物質およびガス状物質を捕集し、ダイオキシン類を分析します。
- ・作業環境＜解体前・中・後＞
空気中の粒子状物質およびガス状物質を捕集し、ダイオキシン類を分析します。
- ・排気＜解体前・中＞
空気中の粒子状物質およびガス状物質を捕集し、ダイオキシン類を分析します。
- ・血中ダイオキシン類＜解体前・後＞
採血により、ダイオキシン類濃度の比較し、作業者の血液中へのばく露を確認します。
- ・付着物＜解体後＞
焼却設備及び汚染箇所が付着している付着物を採取し、ダイオキシン類を分析します。
- ・廃棄物＜解体後＞
解体工事に伴い発生する廃棄物を採取し、ダイオキシン類及び重金属類を分析します。
- ・洗浄排水＜解体後＞
洗浄に伴い発生する排水を採取し、ダイオキシン類及び重金属類を分析します。
- ・洗浄汚泥＜解体後＞
排水処理設備より処理された沈殿物の汚泥を採取し、ダイオキシン類及び重金属類を分析します。
- ・地下水＜汚染土壌撤去完了時＞
掘削除去完了時に掘削範囲箇所の最下流を対象として、地下水を採取し、水質調査を行います。



香流苑跡地について

1 土地の現状

所在地：長久手市上川原1-1及び1-3（2筆）

面積：15,396.74㎡（登記簿面積）

財産の種類：普通財産（行政目的のない財産）

都市計画：市街化区域、準工業地域、建ぺい率60%容積率200%

その他指定：洪水浸水想定区域 浸水深さランク1～4に該当（令和元年8月30日愛知県指定）

解体撤去工事：解体工事は令和7年6月30日まで

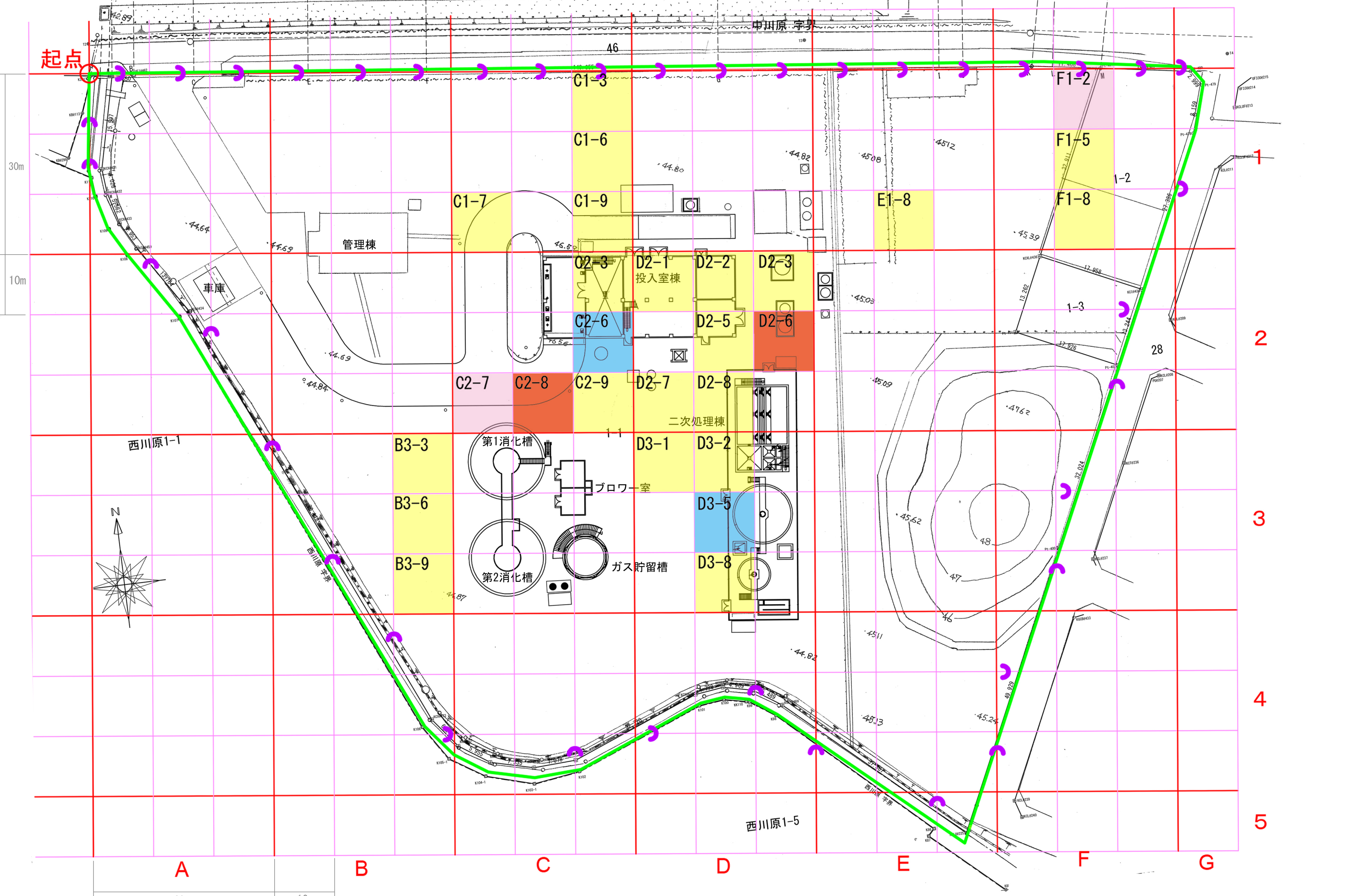
2 跡地について市の姿勢

◎し尿処理施設を地域の皆様が受け入れていただき、47年間稼働できたことに感謝しています。

◎跡地について、地域の皆様のご意見を丁寧に聴きながら、しっかりと話し合いをする姿勢で取り組みます。

◎これから地域の皆様との対話をスタートさせます。

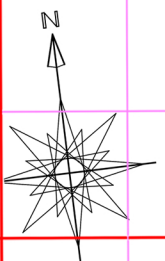




起点

30m

10m



A

B

C

D

E

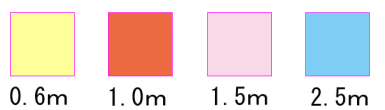
F

G

30m

10m

汚染土壌到達深度凡例



※汚染土壌の撤去範囲は示した図面の寸法に対して面積、深さ共に+10cm以上確保すること。

株式会社 環境施設コンサルタント		香流苑解体撤去工事	図面番号
香流苑		汚染土壌範囲図	96
検図	製図	設計	縮尺 1/600
		令和5年3月	長久手市くらし文化部環境課

洪水浸水想定区域図・浸水予想図

1,000年に1回程度の降雨により浸水した場合に想定される水深 24時間 総雨量836mm

3.0~5.0m未満の区域
1.0~3.0m未満の区域
0.5~1.0m未満の区域
0.3~0.5m未満の区域
0.3m未満の区域



香流苑周辺における防災について

- ・香流苑を含め、香流川沿いは洪水浸水想定区域となっており、1,000年に1度の降雨時には数メートルの浸水が想定されている。
- ・下山地区では下山防災クラブが、上川原地区では上川原防災会が、それぞれ積極的な防災活動を行っている。
- ・下山集会所は地域独自の「地域避難所」としている。（市の指定避難所ではない）
- ・ホーユーと市は災害協定により、ホーユーが受入可能な場合は地域住民を受け入れる。
- ・この地域の最寄りの避難所は「北小学校」となる。各都市公園は「一時避難場所」となっている。

